

ジノテフラン作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場	試験条件			最大残留量 (ppm)	
		剤型	使用量・使用方法	回数		経過日数
メロン [※] (果実)	2	1%粒剤＋ 20%水溶剤	植穴処理 2g/株 1,000倍散布 250L/10a	3回	3, 14, 28, 42日	圃場A:0.47(3回, 28日) (#) 圃場B:0.26(3回, 28日) (#)
すいか [※] (果実)	2	1%粒剤＋ 20%水溶剤	植穴土壌混和 5g/株、株元処理 2g/株 2,000倍散布 200, 250L/10a	4回	7, 14, 21, 28日	圃場A:0.20(4回, 21日) (#) 圃場B:0.13(4回, 21日) (#)
ほうれんそう (茎葉)	2	1%粒剤＋ 20%水溶剤	定植時植溝土壌混和 9kg/10a 2,000倍散布 150, 250L/10a	3回	3, 7, 14日	圃場A:9.33(3回, 3日) (#) 圃場B:7.10(3回, 3日) (#)
オクラ (果実)	2	1%粒剤＋ 20%水溶剤	生育期株元処理 9kg/10a 2,000倍散布 180～250, 300L/10a	3回	1, 3, 7, 14日	圃場A:0.46(3回, 1日) (#) 圃場B:0.56(3回, 1日) (#)
さやえんどう (さや)	2	20%水溶剤＋ 1%粒剤＋ 20%水溶剤	100倍希釈液 30mL/株 灌注 植溝土壌混和＋株元散布 9kg/10a 2,000倍希釈液 300, 200L/10a	5回	1, 3, 7, 14日	圃場A:2.49(5回, 3日) (#) 圃場B:1.17(5回, 1日) (#)
えだまめ [※] (さや)	2	1%粒剤＋ 20%水溶剤	播種時播溝処理土壌混和 6kg/10a 2,000倍散布 200, 220L/10a	3回	7, 14, 21, 28日	圃場A:0.534(3回, 14日) (#) 圃場B:0.678(3回, 7日) (#)
くわい (塊茎)	2	1%粒剤	3kg/10a	3回	30, 60, 90日	圃場A:<0.02(3回, 60日) 圃場B:0.03(3回, 60日)
温州みかん [※] (果肉)	2	20%水溶剤	1,000倍散布 400L/10a	2回	7, 14, 28, 42, 56日 8, 14, 28, 42, 49日	圃場A:0.460(2回, 28日) 圃場B:0.581(2回, 28日)
温州みかん [※] (果皮)	2	20%水溶剤	1,000倍散布 400L/10a	2回	7, 14, 28, 42, 56日 8, 14, 28, 42, 49日	圃場A:1.95(2回, 28日) 圃場B:3.46
夏みかん [※] (果肉)	2	20%水溶剤	1,000倍散布 500L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:0.012(2回, 14日) 圃場B:0.034(2回, 14日)
夏みかん [※] (果皮)	2	20%水溶剤	1,000倍散布 500L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:1.34(2回, 14日) 圃場B:0.99
夏みかん [※] (果実)	2	20%水溶剤	1,000倍散布 500L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:0.486(2回, 14日) 圃場B:0.233
すだち (果実)	1	20%水溶剤	1,000倍散布 500L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:1.04

ジノテフラン作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場	試験条件				最大残留量 (ppm)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
かぼす (果実)	1	20%水溶剤	1,000倍散布 500L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:0.83
りんご (果実)	2	20%水溶剤	1,000倍散布 500, 600L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:0.276(2回, 7日) (#) 圃場B:0.187(2回, 7日) (#)
りんご (果実)	2	20%水溶剤	500倍土壌表面散布 500L/10a 2,000倍希釈液 600, 500/10a	4回	1, 3, 7, 14, 21日	圃場A:0.14(3回, 1日) (#) 圃場B:0.10(3回, 7日) (#)
なし (果実)	2	20%水溶剤	1,000倍散布 450, 500L/10a	2回	7, 14, 21, 28日	圃場A:0.736(2回, 7日) (#) 圃場B:0.454(2回, 7日) (#)
なし (果実)	2	20%水溶剤	500倍土壌表面散布 500L/10a 2,000倍散布 350L/10a	4回	1, 3, 7, 14, 21, 28日	圃場A:0.16(4回, 1日) (#) 圃場B:0.42(4回, 1日) (#)
もも (果肉)	2	20%水溶剤	2,000倍散布 400, 450L/10a	2回	7, 14, 20, 26日 7, 14, 21, 27日	圃場A:0.196 圃場B:0.476
もも (果皮)	2	20%水溶剤	2,000倍散布 400, 450L/10a	2回	7, 14, 20, 26日 7, 14, 21, 27日	圃場A:1.24 圃場B:1.90
もも [*] (果肉)	2	20%水溶剤	500倍土壌表面散布 400, 500L/10a 2,000倍散布 400, 500L/10a	4回	1, 3, 7, 14, 21, 28日	圃場A:1.03(4回, 21日) (#) 圃場B:0.54(4回, 3日) (#)
もも (果皮)	2	20%水溶剤	500倍土壌表面散布 400, 500L/10a 2,000倍散布 400, 500L/10a	4回	1, 3, 7, 14, 21, 28日	圃場A:5.28(4回, 1日) (#) 圃場B:5.26(4回, 1日) (#)
ネクタリン (果実)	2	20%水溶剤	2,000倍散布 270, 700L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A:0.93 圃場B:0.86
すもも (果実)	2	20%水溶剤	500倍土壌表面散布 500L/10a 2,000倍散布 400, 500L/10a	4回	1, 3, 7, 21日	圃場A:0.18(4回, 7日) (#) 圃場B:0.18(4回, 7日) (#)
うめ (果実)	2	20%水溶剤	2,000倍散布 400L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:1.36 圃場B:1.94
おうとう [*] (果実)	2	20%水溶剤	1,000倍散布 400, 500L/10a	2回	7, 14, 21, 28日	圃場A:2.76(2回, 14日) (#) 圃場B:1.54(2回, 7日) (#)
おうとう (果実)	2	20%水溶剤	500倍土壌表面散布 500L/10a 2,000倍散布 400, 500L/10a	3回	1, 7, 14, 21, 28日 1, 7, 13, 20, 27日	圃場A:2.03(3回, 1日) (#) 圃場B:5.05(3回, 1日) (#)

ジノテフラン作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場	試験条件			最大残留量 (ppm)	
		剤型	使用量・使用方法	回数		経過日数
いちご (果実)	2	1%粒剤	定植時植穴処理 1g/株	1回	121, 128, 135日 130, 137, 144日	圃場A:0.61 圃場B:0.039
いちご [*] (果実)	2	1%粒剤+ 20%水溶剤	定植時植穴処理 1g/株 2,000倍散布 200~201L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A:1.58(3回, 3日)(#) 圃場B:2.30(3回, 3日)(#)
ぶどう [*] (果実)	2	20%水溶剤	1,000倍散布 400, 280~360L/10a	2回	7, 14, 21, 28日	圃場A:3.36 圃場B:3.16(2回, 14日)
かき [*] (果実)	2	20%水溶剤	1,000倍散布 300, 313L/10a	2回	7, 14, 20, 日 7, 14, 21日	圃場A:0.50(2回, 7日)(#) 圃場B:0.70(2回, 14日)(#)
かき [*] (果実)	2	20%水溶剤	500倍土壌表面散布 5L/樹 2,000倍散布 300, 500L/10a	4回	1, 3, 7, 14, 21日	圃場A:0.34(4回, 3日)(#) 圃場B:0.55(4回, 1日)(#)
マンゴー (果実)	2	20%水溶剤	2,000倍散布 200, 320L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A:0.34(3回, 1日) 圃場B:0.32(3回, 1日)
茶 [*] (荒茶)	2	20%水溶剤	2,000倍散布 200L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:9.10(2回, 7日) 圃場B:19.1(2回, 7日)
茶 (荒茶)	2	1%粒剤	株元散布 12kg/10a	2回	7, 14, 28, 56日	圃場A:3.25(2回, 28日) 圃場B:1.43(2回, 28日)

今回、新たに提出された作物残留試験成績に網を付けて示している。
 #これらの作物残留試験は、申請の範囲内で試験が行われていない。
 ※印で示した作物については、申請の範囲内で最高の値を示した括弧内に示す条件において得られた値を採用した。
 最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付している。
 なお、食品安全委員会農薬専門調査会の農薬評価書「ジノテフラン」に記載されている作物残留試験成績は、各試験条件における残留農薬の最高値及び各試験場、検査機関における最高値の平均値を示したものであり、上記の最大残留量の定義と異なっている。